

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 7月10日	検討回数	第6回(自主)

検討結果概要

1. 今回検討した項目

・分科会メンバーより提出されたアイデアについて検討した。

2. 今回の討議した内容(報告)

[分科会員がそれぞれ提出した、現状の課題の把握、課題解決に向けたプロセス、アイデアについて検討した。]

- ・情報共有体制の構築について。市民、行政などがそれぞれ有用な情報があるのに、部門内で情報が完結している。情報の流れが一方的である。十分、共有する必要がある。
- ・災害ボランティアについて。災害発生時には、公助たる公務員も被災の可能性があるので、災害に強いまちづくりのために、市民の活動が必要であり、災害ボランティアに登録してもらい円滑に支援を実施できる体制をつくる。
- ・企業の防犯パトロールについて。市民の行っている防犯パトロールのカバーできない時間帯に、企業(運搬会社など)にパトロール活動を担ってもらうことで、空白時間帯を減らせる。
- ・自主防災組織の結成について。組織数が少ないために、広報を充実し、参加、立ち上げにかなげる必要がある。
- ・防災意識の醸成。迅速な対応ができるために、平常時からの防災に対する、ひとりひとりの防災意識を高め、自助、共助の意識を高める。
- ・美化、景観の整備。道路、空き地などの環境整備、美化を進めることで、防犯に効果がある。このために、ひとりひとりができることから行ってみる。
- ・声かけ運動について。日頃から声かけ、あいさつを交わすことにより地域にどんな人が住んでいるかを知り、防犯、災害時対応に役立つ。

3. 次回の検討方針

・今回の検討をもとに、さらに各自でアイデアを検討し、分科会としての意見集約をする。次回、自主開催の予定。